

県社協 県社協部会協議会 各種団体の



動き

岩手県ホームヘルパー協議会

平成26年度総会を5月22日を開催しました。総会後に開催した第1回セミナーでは、「在宅での看とり〜ホームヘルパーの責任と覚悟〜」と題し、医療法人葬会「チームもりおか」板垣園子所長から、疑似体験から学ぶ死のプロセスと看とりの支援を学びました。

今年度の現任者研修会は、8月下旬と10月中旬に盛岡で開催予定です。現任者研修では調理実習や介護技術、医療連携、事例検討など現場で役立つ実践的な内容を予定しています。

岩手県介護福祉士会

平成26年度総会を5月17日に開催し、役員改選が行われました。総会後には、「生活を語る、実践的介護福祉士について〜！」と題して、東京都で「NPO法人共に介護を支えあい、励ましあいネットワーク」を主宰されている現役ホームヘルパーの藤原ルカさんを講師に研修会を行い、五感を活かし個の生活に寄り添う介護の大切さについて学びました。

7月9日〜11日には、介護福祉士資格取得後2年未満の介護職員を対象に、介護技術の基礎や制度施策について学ぶ「介護福祉士初任者研修会」を開催しました。

岩手県介護支援専門員協議会

平成26年度総会を6月21日に開催しました。総会後の第1回研修会では新潟県から高齢者総合ケアセンターこぶし園の小山総合施設長を講師として、「地域包括ケアシステムについて〜地域の道路を施設の廊下〜」という演題で次年度法改正に向けた地域包括ケアシステムの考え方を学びました。

第2回研修会は前年度同様、沿岸地での研修会を予定しています。また、法改正についての研修会や情報提供、県との情報交換等を積極的に行っていくこととされています。

岩手県知的障がい者福祉協会

岩手県知的障害者福祉協会では、27年4月からの障がい福祉サービス事業報酬単価改正が目前となっていることを踏まえ、会員事業所の声を日本知的障害者福祉協会など関係諸会議の場で意見提起し、国への要望を行ってまいります。

また、東日本大震災で被災した会員事業所への支援にあたっては、前年度同様に障がい者福祉協会との連携のもと、被災会員事業所等のニーズに基づいた支援活動に取組むほか、各部会活動の展開や研修、スポーツ交流会開催による会員

事業所の相互交流も進めてまいります。

岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

今年度は本県が東北ブロック幹事県となっており、11月13日〜14日に盛岡市で平成26年度東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会を開催します。

厚生労働省からの行政説明、地域包括ケアに関する講演、各県からの事例発表等の内容を予定しています。併せて、7月、11月、3月には東北ブロック会長等合同会議を本県で開催します。

11月の職員研修会は、本協議会研修委員会を中心に準備を進めていますが、開催要項は、まとも次第、県社協ホームページに掲載します。会員外の参加も可能ですので、皆さまのご参加をお願いいたします。

事業運営では、今年度も会員センターにはメールを活用し、情報提供に努めて参ります。

年度後半には会員センターにアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

併せて、本会のホームページ（岩手県社協ホームページからご覧いただけます）にも各種情報を掲載しますので、ご利用下さい。

岩手県里親会

東日本大震災により被災孤児を養育する里親の子育ての悩みを和らげ、情報提供・交流する場として、平成23年度から

延べ63回の里親サロンを開催し、平成26年度は月1回、沿厓3か所で開催します。従前は甥姪、孫との係りから養育者としての係り方で被災経験のこと、食事や進学のことなど、親族里親は様々な悩みを抱えながら養育しており、定期的なサロンの場合は、他の里親と悩み共有や先輩里親から子育ての助言を受ける場として心の拠り所になっています

平成26年7月には、県内の里親が集い交流、研修する「サマーキャンプ」も日本ユニセフ協会等の協力を得て開催予定です。

岩手県民生委員児童委員協議会

被災地の民生委員活動と平時の民生委員活動の双方の活動支援を目的に、各種事業を実施する予定です。

被災地の民生委員活動支援では、震災以降、活動を積み重ねてきた民生委員・児童委員の精神的負担軽減のため、今年度も定例民協を訪問し、委員相互の悩みや思い、活動の共有に向けた意見交換と、活動範囲の拡大に伴う経済的負担軽減の活動負担増分の補助を実施する予定です。

また、平時の民生委員活動支援では、昨年の一斉改選で、県内の3分の1の委員が交代し、民生委員1人ひとり、過度の負担を抱えずに活動できる環境整備を目的に、定例民協運営や委員相互の連携構築に向けた研修等を実施する予定です。

